

春野東小学校より



### 子どもたちに「食の関心」を

なかざわ まいの  
中澤 舞乃さん(25歳)

教員免許と管理栄養士の資格を持った「栄養教諭」として勤務し、4年目です。子どもたちが「将来にわたって元気で健康に暮らせること」「食に関心を持つこと」を目標に、給食・食育に関わる業務をしています。その他、地産地消や郷土料理、食べ物の栄養やお箸の使い方などについて、授業や学級活動を通して伝えています。子どもたちが学び、成長していく姿を見ることがやりがいです。

趣味はカフェ巡りです。友人とドライブしながら、県内外問わず景色のいい場所を探してランチするのが楽しみです。

### ビビンバ丼、食べに来てね

かわむら  
店長：川村 みゆきさん(51歳)

退職後、高齢になっても続けられる何かをやりたいたいと思い、昨年5月にキッチンカー「キッチン458」を始めました。「お昼ごはんを安く・いっぱい食べてもらいたい」をモットーに、ワンコインで丼ものを提供しています。

食材は直販所「春の里」などで仕入れ、仕込みから販売まで1人で行っています。人気のメニューは「ビビンバ丼」。イベントで150食以上を販売したこともあります。地域の方々のクチコミで、周辺の農家さんとそこで働くアルバイトさんがよく買いに来てくれるようになりました。

自分が作ったものを食べて、お客さんが「おいしい」と言ってくれることが何よりも励みになります。毎日でも食べたくなる味を目指して、これからも頑張ります！

東諸木より



Instagramに営業日をお知らせしています！



キッチン458 (よこば)  
普段は春野町の宮地自動車工業(株)さんのご厚意で、敷地内(高知市春野町東諸木280)で営業しています。  
営業時間：9:00～  
(材料無くなり次第終了)  
TEL：090-4782-4696  
定休日：不定休  
(祝日、第1・第3日曜日、雨天時)

# 高知地区 から こんいちには 今月の〇〇 気になる人

とさのさとより



### 若手が活躍する組合を

ふじおか のぶ  
藤岡 信雄さん(75歳)

子供の頃から昆虫が好きだったこともあり、高校卒業後にハチを飼い始めました。初めは知人の養蜂家のもとで約3年間作業を手伝いながら技術を学びつつ、県外にも勉強に行っていました。稲作やその他の仕事もしながら、22歳の時に独立。現在は約200群を管理し、とさのさとやJAの直販所などに「百花蜜」「みかん蜜」「びわ蜜」を出荷しています。ハチミツは健康・美容にも良いので、ぜひ試してみてください。

平成17年から高知県養蜂農業協同組合の組合長も務めています。組合内で活発に情報交換することで、若手が育ち活躍する組合を目指しています。

### 私の好きなこと

にしむら りん か  
西村 鈴夏さん(10歳)

学校が休みの日はUVレジンを使って、チャームなどを作っています。蝶の型に、水色や紫色のレジン液を流し込み、ラメを入れると、とてもキレイです。

他には、絵を描くことも好きで、家で飼っている猫やゲームのキャラクターをデジタルで描いています。完成を楽しみにしながら、イメージを自由に表現することが、とても楽しいです。

次はつまみ細工に挑戦して、カラフルなお花を作りたいと思います。

仁ノより



# できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！

## 5 高知地区 こんにゃく作り集まろう 春野地区森山支部



こんにゃくの形を整える部員ら

女性部春野地区森山支部は12月15日、春野町でこんにゃく作りを行いました。同支部の11人が参加し、10名のこんにゃく作りをしました。同支部のこんにゃく作りは30年以上続く活動。こんにゃく粉は使わず、コンニャク芋から作ることに特徴です。持ち帰って刺身こんにゃくなどで、家族で食べるということです。元吉裕子支部長は「部員が集まって話せる機会として、みんなが楽しみにしている。手作りこんにゃくは家族へのお土産としても喜ばれている」と話しました。

## 3 高知地区 土佐茶振興協議会 土佐茶まつり開く



試飲を楽しむ来場者 写真⑤

土佐茶振興協議会は12月9日、高知市のJAファーマーズマーケットとさのさで「土佐茶まつり」を開き、土佐茶の販売・試飲を行いました。JAや県内の個人茶工場・生産者団体ら10団体が出店し、それぞれの茶製品をPRしました。農畜産部の国利達生部長は「より多くの方々が試飲し、土佐茶ならではのおいしさを知ってもらうことで、消費拡大・生産者の所得向上に貢献できれば」と話しました。高知市から訪れた50代の夫婦は「普段から高知県産の番茶・ほうじ茶を良く飲んでいる。多くの出店があったので、飲み比べたい」と話しました。



みそ造りを親子に指導する矢野課長 写真④ (南国市のみそ加工所で)

JA高知県は12月2日、第4期親子あぐりスクール第5回の活動と修了式を開きました。親子26人が参加し、みそ造り体験や工作を行いました。土長地区南国営農経済センター組合員課の矢野秀幸課長が指導し、甘み・辛みのバランスが良い「合みそ」を親子で約5分ずつ作成。矢野課長は「5カ月ほど涼しい所に保存し、時折様子を見ながら出来上がりを楽しみにしてほしい」と話しました。工作では、(一社)家の光協会が発刊する小学生向け月刊教育誌「ちやぐりん」令和5年11月号掲載の「おうちの小物入れ」を作成。親子らはJA職員から作り方を学びながら完成させました。修了式では、参加した児童が「田植えの時、田んぼの泥が気持ちよかった」「キュウリの収穫が楽しかった」「新しい友達ができた」などと感想を話しました。

## 1 高知地区 親子でみそ造り・工作 第4期親子あぐりスクール修了式

## 6 高知地区 県産黄ユズ活用して JA高知厚生連に320玉寄贈



秦泉寺組合長からユズを受け取る井上理事長ら

営農販売事業本部は12月20日、南国市のJA高知厚生連に高知県ゆず振興対策協議会とJAグループ高知提供の県内産の黄ユズ320個を寄贈しました。ユズを使ったレシピと合わせ、秦泉寺雅一組合長が厚生連の井上昭道理事長らに手渡しました。秦泉寺組合長は「全国一の出荷量を誇る県産のユズを、ユズ湯や病院食などに活用してほしい」と話しました。ユズは酢の物や焼き物の香りづけ、ユズ湯やユズ茶にして使います。井上理事長は「農家の方々が丹精込めて栽培したユズを頂き感謝している。毎年、入院患者や施設の利用者から大変喜ばれている」と話しました。

## 4 高知地区 春野胡瓜部会 目慣らし屋外で参加者増加



生産者と選果基準などを確認し合う高橋さん 写真⑥

春野胡瓜部会は昨年より、目慣らし会の開催方式を気軽に立ち寄れる屋外での開催に変更しています。12月12日と13日、同部会はJA集出荷場の敷地内で目慣らし会を開きました。両日とも出荷の時間帯に合わせて3時間ずつ開催し、計90人が参加。参加者は昨年を20人ほど上回りました。生産者らはキュウリの見本を見ながらJA職員から個別に説明を受け、選果基準などを確認しました。販売課の高橋成寿さんは「生産者と個別に話やすく、出荷予測などの情報収集に役立つ上、生産者同士も気軽に情報交換できる場になっている」と話しました。



ハウスの状態を確認する生産者

春野生姜部会は12月19日、春野町内で今園芸年度初のハウス新シヨウガの現地検討会を開きました。同部会員10人が参加し、同町内2カ所のハウスを視察。部会員同士で生育状態を確認し合い、意見を交わしました。営農指導課の池彰仁課長補佐は「今年の天候や日照時間、温度・湿度管理や病害虫防除について呼びかけました。池課長補佐は「10・11月と好天が続いたが、来年1・2月は暖冬の傾向が予測されているため、病気の注意喚起を行っていく。現地の検討会を重ね、秀品率の維持・向上に努める」と意気込みを語りました。同部会の川窪貴之部会長は「ハウスの状態は栽培ステージ通りで順調。今作も品質を落とさず、市場の要望に応えられるものを出荷したい」と話しました。

## 2 高知地区 ハウス新シヨウガ現地検討会 部会員同士で意見交換

高知農業改良普及所より

# 令和6年産水稻の育苗管理と 注意点について

育苗期間の管理が、稲の収量に大きく影響します。適切な育苗管理を行い、健苗育成に努めましょう。

	管理作業	実施内容と注意点
育苗期	種もみ準備	・種子更新をしましょう。
	塩水選	・塩水選をしましょう(水1L+食塩85g)。※塩水選終了後は、必ず水洗いをしましょう。
	袋づめ	・袋づめの種子量は、もみ袋の7分目としましょう。
	種子消毒	・種もみ量：薬液量＝1：2(例)種もみ量:4kg 薬液量:8L(テクリードCフロアブル40mL) ・薬液温度は15℃で、24時間浸漬しましょう。 <b>【注意】</b> 浸漬処理後の残液は、河川に流さない。
	浸種	・浸種は、水温15℃で、10～12日間行いましょう。 消毒後は、3日間水の取り換えを行わず、その後の取り換えも静かに行いましょう。 ・均一に発芽させるため、十分に吸水させましょう。 ・発芽の遅延が懸念される場合は、浸種期間を十分取りましょう。  消毒は1日 浸種は10～12日間 種もみを浸す
	催芽	・催芽温度は30℃で、ハト胸(芽の長さ1mm)程度に芽出しをそろえましょう。
	は種	・催芽もみ量は、1箱当たり約280cc(乾燥もみ量150g)です。 ・もみの持ち上げを防止するため、覆土は、苗箱の上端まで入れましょう。
田植期	緑化	・育苗器内の温度を30～32℃に保ち、2～3日で鞘葉が1cm程度に伸びたら、緑化に移しましょう。 ※白化防止のため、半日程度、日光に当てないようにしましょう。 ・本葉1.5葉まで、日中は25℃程度、夜間は15℃程度で管理しましょう。
	硬化	・昼間は25℃を超えないように、通風・採光を十分に行いましょう。 ※夜間8℃以下になると、ムレ苗が発生する恐れがあるので注意しましょう。  培土 5L/箱 催芽もみ 280cc/箱 昼間 25℃以下 夜間 8℃以上で管理
田植期	移植	・育苗日数は20～25日、葉齢2.0～2.5葉の苗を坪当たり50～60株、1株当たり苗3～5本植えにしましょう。

## 苗立枯病の防除について

苗立枯病発生のおそれがある場合は、は種時にナエファインフロアブル1,000倍液を1箱当たり0.5L灌注しましょう。

## 登録情報

商品名	作物名	適用病害	希釈倍率・使用量	使用方法	使用時期
テクリードC フロアブル	稲	いもち病・褐条病・ごま葉枯病・苗立枯細菌病 苗立枯病・ばか苗病・もみ枯細菌病	200倍	24時間 種子浸漬	浸種前
ナエファイン フロアブル	稲 (箱育苗)	苗立枯病	1,000倍 1箱当たり0.5L (30×60×3cm、 使用土壌約5L)	土壌灌注	は種時

問い合わせ先 中央西農業振興センター高知農業改良普及所  
(TEL.088-861-0711) (FAX.088-861-0660)



春野営農経済センターより

## 確定申告とは?

1月1日～12月31日までの1年間に生じた所得を計算し、その所得金額に対する税額を算出して申告と納税をすることです。1年間の総決算を意味し、確定所得金額について計算した税金の額を、源泉徴収された税金、予定納税でおさめた税金などの総額と比べて、精算するためにおこなうものです。

## 令和5年分 確定申告の受付期間のお知らせ

今年は令和6年2月16日(金)より、高知税務署への確定申告書の提出受付が開始されます。

	申告書の受付期間	納期限
		振替日(振替納税利用の場合)
所得税等	令和6年2月16日(金)～ 令和6年3月15日(金)	令和6年3月15日(金)
		令和6年4月23日(火)
個人事業者の消費税	令和6年1月4日(木)～ 令和6年4月1日(月)	令和6年4月1日(月)
		令和6年4月30日(火)

## 日本の「農」と「食」を学ぶ 農業の環境保全機能について

●日本農業検定事務局

農村で農業生産活動が行われることにより生ずる、農産物の供給を含めた幅広い機能を「農業・農村の多面的な機能」と呼んでいます。農村地域では、農業が営まれることにより、田畑に育った作物と農家の家屋、その周辺の水辺や里山が一体となって美しい農村景観を形成しています。

### 問題

農業の環境保全機能についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- (1) 耕作を続けている田畑では、雨水がゆっくりと地下に染み込むので、地下水位の急上昇を防ぐ働きをしている。
- (2) あぜに囲まれた田や畑には、雨水を一時的に貯留し、ダムのように洪水を防止する機能がある。
- (3) 田畑では、自然との調和を図りながら手入れをすることによって、トンボやカエルなど、多様な生き物が生活できる二次的自然が形成されている。
- (4) 田畑で育っている作物は、蒸散作用によって大気を浄化する機能を持っている。

解答：正解は(4)です。

解説：田んぼの稲には光合成によって大気中の二酸化炭素を減らし、代わりに酸素を出す、大気の浄化機能があります。

あぜに囲まれた田や耕作されている畑の土壌には、雨水を一時的に貯留する働きがあり、田んぼの一枚一枚は、小さな治水ダムの役割を果たしています。また、田畑の耕作を続けることで、雨水を地下にゆっくりと染み込ませ、地下水位が急上昇することを抑える働きがあり、地滑りなどの災害を防止しています。

田畑には、人が手を加えることで形成・維持されてきた自然環境である、豊かな生態系を持った二次的自然が形成されています。



◀日本農業検定  
ホームページ

『新版 日本の農と食を学ぶ 中級編』(22ページ)より

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

# みんなのひろば

いちご農家の女性、立派な方だと感心しています。

(春野町弘岡下 81歳)

▼12月号では、県外から幡多郡大月町に移住し、イチゴ農家になった新規就農者を紹介しました。所属する宿毛支所イチゴ部会と関係機関で協力し「だるまいちご」の産地化を目指すほか、観光農園を開くなど、明確な目標に向かって新たなスタートを切っています。JA高知県はこれからも新規就農者を紹介し、応援していきます！

今月号のユズ特集は写真が多くて見やすいです。毎号楽しみにしています。

(高知市鴨部 60歳)

▼特集1では県内一のユズ産地、安芸地区の取り組みを紹介しました。栽培や加工場の様子などが掲載されており、写真からユズの爽やかな香りが伝わってくるようです。毎号楽しんでいただけて嬉しいです。

「今月の気になる人」、丁寧な取材が出来ていて毎号楽しみにしています。

(春野町甲殿 62歳)

▼ありがとうございます。12月号では直販部員さんや女性部、女性消防士の方を紹介しました。出てくれた方の思いや目標、趣味や楽しみなどを分かりやすく伝えられるよう、これからも頑張ります！

ユズ加工品がたくさん紹介されていて、食べてみたいと思いました。

(高知市塚ノ原 46歳)

ユズ加工品の種類の多さを改めて知りました。

(高知市升形 67歳)

▼特集2では、「とさのさとアグリコレット」より厳選したユズ加工品を紹介しました。夏にオススメなのは「本気でスッパイゆずモナカ」。ユズシャーベットの酸味がクセになります。「ゆず塩」「ゆず塩胡椒」「ゆず七味」は、手軽にユズの香りを楽しめるのでぜひ使ってみてくださいね。

レシピを見ながらチャレンジしています。作ったことが無いものばかりなので、いつも楽しみにしています。

(高知市薊野 58歳)

▼「うちんくの台所」では、安芸地区田野支部の女性部が「すり身天」「豆腐の抹茶プリン風」の2品を紹介してくれました。どちらも簡単に作れ、「すり身天」は好きな野菜でアレンジできるので、ぜひ参考にしてみてください。

練り切り、どれもきれいで美味しそう！

(高知市福井町 69歳)

▼「コチットのイチオシ」では「和菓子処おおいし」の練り切りを紹介しました。地元で採れた食材や国産原料にこだわった色とりどりの練り切り、買いに行きたくなりました。他の「和スイーツ」も人気とのこと、全部味わってみたいです。

## 【連絡先一覧表】

### 高知地区（春野町）

企画組合員課 894-3033

はるちゃんのアイス屋 894-2760

### 春野支所

信用課 894-2203

共済課 894-3304

共済普及課 894-3309

### 他組織・子会社等

高知中央サービスセンター  
(事故処理) 821-6015

(株)JAエナジーこうち  
春野給油所 828-6212

ルミエールはるの (フリーダイヤル24時間)  
0800-200-5911

春野農機センター 894-5290

### 春野営農経済センター

購買課 828-6111

Aコープはるの  
直販所「春の里」 894-2225

重油係 828-6115

ビニール加工場 894-4264

経済渉外課 828-6111

JAグリーンはるの店 828-6161

配送部門 828-6113

販売課 894-2222

営農指導課 894-5660